

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）事後評価書

平成27年 5月 20日

計画の名称	木津川上流流域における下水道整備について									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）			交付対象		京都府木津川市(木津川上流処理区)				
計画の目標	整備効果の見込める地域から下水道管布設を行う。さらに宅内改造費用の一部を市が助成することにより、排水設備設置義務者の水洗化意欲を高め、河川等の水質改善や生活環境の向上を図る。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度末までに、下水道の処理人口普及率94%までに引き上げることを目標に整備を推進。 下水道による都市浸水対策達成率を43% (H21) から56% (H26) に増加。 									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H26末)	
①	下水道整備を実施すべき区域の人口のうち、供用区域の人口の割合 下水道による処理人口の割合(%) =(供用区域の人口「人」/下水道整備を実施すべき区域の処理人口「人」)						89%	91%	94%	
②	浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 下水道による都市浸水対策達成率 =(概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積「ha」/(都市浸水対策を実施すべき区域の面積「ha」))						43%	44%	56%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	1322.12百万円	A	1225.12百万円	B		C	97.00百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	7.3%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
・木津川市下水道庁内連絡会議において実施。	<ul style="list-style-type: none"> 事業終了後
	公表の方法
	・市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											上段（計画）					下段（実施）					全体事業費 (百万円)	備考
A1 下水道事業											事業実施期間（年度）											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26							
A1-1	下水道	一般	木津川市	直接	-	汚水	新設	木津川市上流処理区木津地区汚水管渠	汚水管 φ200 L=6,427m	木津川市						150.720						
									↓ 汚水管 φ200 L=4,187m							150.720						
A1-2	下水道	一般	木津川市	直接	-	汚水	新設	木津川市上流処理区木津地区汚水管渠	雨水管 φ200～φ1,000 L=4,694m	木津川市						180.000						
									↓ 雨水管 φ200～φ1,000 L=3,921m							180.000						
A1-3	下水道	一般	木津川市	直接	-	汚水	新設	木津川市上流処理区木津地区汚水管渠	汚水管 φ200 L=2,810m	木津川市						113.400						
									↓ 汚水管 φ200 L=1,009m							113.475						
A1-4	下水道	一般	木津川市	直接	-	汚水	新設	木津川市上流処理区木津地区汚水管渠	雨水管 φ200～φ700 L=1,780m	木津川市						67.000						
									↓ 雨水管 φ200～φ700 L=1,924m							67.000						

A1-5	下水道	一般	木津川市	直接	-	污水	新設	木津川市上流処理区木津地区污水管渠	污水管 φ200 L=5,955m ↓ 污水管 φ200 L=5,870m	木津川市							199.000	200.800	
A1-6	下水道	一般	木津川市	直接	-	污水	新設	木津川市上流処理区木津地区污水管渠	雨水管 φ200~φ1,350 L=6,120m ↓ 水管 φ200~φ1,350 L=6,232m	木津川市							192.000	192.000	
A1-7	下水道	一般	木津川市	直接	-	污水	新設	木津川市上流処理区木津地区污水管渠	污水管 φ200 L=3,569m ↓ 污水管 φ200 L=1,509m	木津川市							155.000	125.640	
A1-8	下水道	一般	木津川市	直接	-	污水	新設	木津川市上流処理区木津地区污水管渠	污水管 φ200 L=1,750m ↓ 污水管 φ200 L=495m	木津川市							96.000	60.400	
A1-9	下水道	一般	木津川市	直接	-	污水	新設	木津川市上流処理区木津地区污水管渠	雨水管 φ200~φ700 L=1,418m ↓ 雨水管 φ200~φ700 L=1,123m	木津川市							72.000	39.360	
																合計	1,225.120		
																合計	1,129.395		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		

合計

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
										H22	H23	H24	H25	H26					
C-1	下水道	一般	木津川市	直接	市	新設	木津川上流処理区木津地区污水管渠(支線)	小規模管渠・污水管 φ200 L=0m	木津川市								0.000		
C-2	下水道	一般	木津川市	直接	市	新設	木津川上流処理区木津地区污水管渠(支線)	小規模管渠・污水管 φ200 L=364m ↓ 小規模管渠・污水管 φ200 L=365m	木津川市								20.400	20.325	
C-3	下水道	一般	木津川市	直接	市	新設	木津川上流処理区木津地区污水管渠(支線)	小規模管渠・污水管 φ200 L=327m ↓ 小規模管渠・污水管 φ200 L=328m	木津川市								17.600	15.800	
C-4	下水道	一般	木津川市	間接	個人	排水設備	木津川上流処理区木津地区各戸排水設備設置の助成	供用開始日から2年以上なら 2万円供用開始日から3 年以上なら1万円の一部を 補助	木津川市								0.000		
C-5	下水道	一般	木津川市	直接	市	新設	木津川上流処理区木津地区污水管渠(支線)	小規模管渠・污水管 φ200 L=680m ↓ 小規模管渠・污水管 φ200 L=1,105m	木津川市								35.000	25.000	
C-6	下水道	一般	木津川市	直接	市	新設	木津川上流処理区木津地区污水管渠(支線)	小規模管渠・污水管 φ200 L=440m ↓ 小規模管渠・污水管 φ200 L=184m	木津川市								24.000	11.600	
																合計	97.000		
																合計	72.725		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-2	基幹事業(A1-2)と接続する枝線整備(小規模管渠)を一体的に整備することで下水道整備地区の早期普及促進を図る。	
C-5	基幹事業(A1-5)と接続する枝線整備(小規模管渠)を一体的に整備することで下水道整備地区の早期普及促進を図る。	
C-6	基幹事業(A1-6)と接続する枝線整備(小規模管渠)を一体的に整備することで下水道整備地区の早期普及促進を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>・木津川上流処理区木津地区污水管渠整備により、生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図る目的を達成する整備ができた。</p>			
--------------------------------	---	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（供用区域の人口の割合）	最終目標値	94%	目標値と実績値に差が出た要因	汚水処理人口普及率は、目標値を上回って達成しました。
		最終実績値	95%		
	指標②（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	56%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	56%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

汚水処理人口普及率については、今後も汚水処理普及区域の拡大に努めなければならない。
また、公共下水道の整備済区域の拡大に伴い、水洗化(接続)の向上に取り組み効率的な整備方針を検討し水洗化の向上を目指す。

(参考様式3)

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	木津川上流流域における下水道整備について	交付対象	京都市木津川市(木津川上流処理区)
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)		

